

9. 青森のヒーロー Who is your hero?

1. 教師の small talk でトピックを導入しましょう。

[例] Who is your hero? I like baseball, so my hero is Otani Shohei. Who is your hero? How about you? Who is your hero in Aomori? My hero in Aomori is Piko Taro. He is a comedian from Aomori. Orin is an idol from Hirosaki. Shibasaki Gaku is a soccer player from Noheji. Elly is a dancer from Misawa. Who is your hero? Why?

ポイント①: 児童になじみのある単語を使って small talk を展開し、トピックが青森出身のヒーローであることに気付かせましょう。日本語でいいので青森出身の有名人について知っていることを発表させましょう。理由も日本語で答えさせてかまいません。

ポイント②: 児童から出た人物を取り上げ、Do you like ~?や How about you?などを使って会話を広げ、多くの児童が自然に話の輪に入ってくれるようにやり取りをしましょう。

ポイント③: 児童から出そうな人物については職業と出身地をあらかじめ調べておけばよいでしょう。

2. スクリーンに教材の絵を映して単語や表現の導入をしましょう。

[Kawaguchi Junichiro の例] 絵を使ってやり取りをしましょう。

What do you see in the picture? We see four people from Aomori. Who is this man? Do you know him? This rocket is Hayabusa. He is my hero. My hero is Kawaguchi Junichiro. He is a project manager of Hayabusa. Where is he from? He is from Hirosaki. He is a great engineer. What do you want to be in the future? I want to be an engineer like him. Who is your hero?

ポイント①: 児童に問いかけ反応を引き出しながら出身地の言い方や engineer の意味に気付かせましょう。川口先生ご本人がご自分は engineer だとおっしゃっています。

ポイント②: 単語や表現の意味を確認しながら、He is ~.や I want to be ~.などを使って何度も音をインプットしましょう。

3. スクリプトの音声を流してスクリプトを導入しましょう。まだ文字は読ませません。

Let's listen to the script. (2回聞かせる) What word do you hear? (耳に手をあてて何が聞こえたかという動作をする) Do you hear engineer? (他の重要表現も確認する) OK, good job. Who is your hero? (教師がゆっくり読み、合図を出してリピートさせる。児童 Who is your hero?) Good. My hero is Kawaguchi Junichiro. (同様に1文ずつ教師の後に続いて言わせる) He is from Hirosaki. (児童がリピート) He is a great engineer. (児童がリピート) I want to be an engineer. (児童がリピート)

ポイント①: この段階では文字を見せずに音をしっかり聞かせ、表現をリピートさせましょう。

4. スクリプトを大きく映し、読む文字を指しながら音と文字を一致させましょう。

Who is your hero? (ゆっくり文字を押さえながら読み聞かせる。2回目は教師と一緒に読ませる。) 以下の文も同じように行う。

ポイント①: この活動の前にしっかり音のインプットをしておくことが大事です。あくまでも文字は補助的なものとして考えましょう。

ポイント②: 文字を指で押さえることで文字の音の確認と読む速さの調節ができます。

ポイント③: うまく読めないところは単語だけ抜き出して練習してもかまいませんが、あまりしつこく繰り返す必要はありません。

5. 他のヒーローについても、同じ要領で児童とやり取りしてみましょう。